

関西福島県人会だより

発行：関西福島県人会事務局

INDEX

新年の御挨拶……………	1	会員のご紹介……………	3
ふくしまプライドで逆境を乗り越え、ふくしまを『希望の地』へ……………	1~2	同好会情報……………	3
県外在住功労者知事表彰挨拶～30年後の福島に期待する……………	2	関西福島県人会イベント情報……………	4
		関西福島県人会入会案内……………	4
		サテライトショップからのお知らせ……………	4

新年のご挨拶

関西福島県人会会長 田崎 公司



令和5年(2023)、明けましておめでとうございます。旧年中に賜りました福島県人会の皆様のご厚情とご高配に心より感謝いたします。本年も宜しくお願い致します。

新年は、国際的スタンダードとしての新暦(西暦)ですが、地方(例えば、私の故郷である西会津町野沢)によっては、中国やベトナムのように新春(旧正月)を大切にしているところもあります。

今年の旧正月は1月23日でした。私の田舎では、「野沢の山の神様」に大晦日を挟んで2年参りをすることが大切な行事です。年が回るカウントは、10年ではなく12年で、一回り前の年は2011年(平成23)です。干支は本年と同じくウサギで、「辛卯」から「癸卯」に暦は回っています。「辛卯」の年には東日本大震災が勃発、巨大な黒兎(海)が大きく跳ね上がり、私たちにとって大切なものを奪ってしまいました。

現在、上映中の新海誠脚本・監督のアニメ映画『スズメの戸締り』は、震災から12年後の私たちの心の「再生」をテーマにしています。「災いの戸(後ろ戸)」を閉めて旅する主人公の岩戸鈴芽は、福島県出身の私たち一人ひとりです。福島県事務所には「閉じ師」である宗像草太の代わりに宗像紀子さんもいらっしゃいます。

本年のウサギは「癸卯」です。「兎の坂登り 月を掴む」のように、自慢の後ろ足で駆け上がり、「ツキ」を掴みます。昨年未の高校駅伝(男女とも学法石川)、そして全国女子駅伝(皇后杯)・男子駅伝(天皇杯)では、多くの区間賞を獲得するなど、「飛躍」の年のスタートを切っています。私たちも負けず、良い年に行きましょう。

ふくしまプライドで逆境を乗り越え、ふくしまを『希望の地』へ

福島県知事 内堀 雅雄

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

関西福島県人会におかれましては、昭和三十四年の発足以来、ふるさとを同じくする方々の心よりどころとして、会員相互の交流を深められておりますことは、誠に喜ばしい限りであり、心から敬意を表します。また、会員の皆さんにおかれましては、本県に格別のお力添えを賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、私は、去る10月の知事選挙におきまして、県民の皆様への御支持を頂き、引き続き、県政を担わせていただくこととなりました。皆様からの御期待をしっかりと胸に刻み、福島未来を切り拓くため、全力で挑戦を続けてまいります。

福島県は、未曾有の複合災害からの復興はもとより、急激な人口減少、度重なる自然災害からの



復旧、新型コロナウイルスの感染拡大防止、さらには原油価格・物価高騰への対応など、幾多の困難な課題を抱えています。

そうした中で、挑戦を絶えず「シンカ(進化・深化・新化)」させながら、様々な逆境を乗り越えることにより、「ふくしまプライド。」を更に光り輝かせていくことが重要と考えております。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還環境の整備などに取り組むとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、風評の払拭と風化の防止、移住・定住の促進など、様々な課題に全庁一丸となって取り組んでまいります。

次に、人口減少対策につきましては、結婚から子育てまでの切れ目のない支援や、「福島ならではの」教育を推進していくほか、食・運動・社会参加を柱とする健康づくりに力を入れ、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

また、農林水産業や商工業、観光業など、既存産業の振興はもとより、新産業の創出・集積等を通じて、若者の県内定着・還流や魅力ある雇用の場づくりなどに取り組んでまいります。

さらに、新型感染症につきましては、引き続き、県民の皆様に対し感染防止対策の徹底をお願いするとともに、国や市町村、関係団体等と緊密に連携しながら、感染拡大の防止と確実な医療の提供に取り組んでまいります。加えて、物価高騰等に対しては、需要喚起策や金融支援などにより、生活の安定と経済の維持・再生を図ってまいります。

これらの取組を含め、県の総合計画に掲げた目標を一つ一つ着実に実現させながら、福島の定義を「被災の地」から「希望の地」、さらには「復興の地」へと変えるべく、全力で福島の未来を切り拓いてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。

県外在住功労者知事表彰挨拶～30年後の福島に期待する～

関西福島県人会相談役 すずき なおし 鈴木 直

昨年の10月9日に「第5回全国うつくしま県人会交流会」が、大阪で開催されました。その際に、2030年に向けた福島県総合計画について、計画作成担当事務局からの説明を聞かせて頂きました。それを聞いて、計画の内容だけでなく、計画を作成するにあたっての3つの基本方針にとっても感銘を受けました。

一つ目の基本方針は対話の重視ということで、特に、小学生、中学生、高校生、大学生という全ての若者世代からの声も聞いて、計画に反映させたとのことでした。とても素晴らしいと思いました。

二つ目の基本方針は、SDGsの視点に基づいた計画の作成ということでした。30年先も見据えて総合計画を考えようという福島県としましては、グローバルな視点がまさに不可欠であると考えます。

三つ目の基本方針は「成果の創出と見える化」ということでした。計画が計画だけで終わるのではなくそれを実現するためには福島県民と福島県を応援して下さる方々が心を一つにすることが必須であり、そのためにも「成果の創出と見える化」は非常に重要であると考えます。

東日本大震災と福島原発事故を契機に福島県は未だに多くの苦しみを抱え続けているかと思います。しかし、これをピンチと考えるのではなく、むしろ絶好の機会 Chance であると捉え、内堀知事が日頃から強調しているように挑戦 Challenge をシンカ(進化、深化、新化)させ続け、2030年、さらには2050年を見据えて、新しい福島県へと変化 Change していってくれることを願っています。そして、自然が豊かだけでなく、そこで暮らす人々の心も豊かで、日本の他の自治体からも福島のようになろうと思われるほどになってくれることを期待致します。

福島県を離れてから60年になりますが、小学・中学時代を過ごした田舎の風景を思い出すといまだに胸にこみあげてくるものがあります。今後も微力ながらまた遠くからではありますが福島を応援し続けて参ります。



会員のご紹介 つちだけいこ ～土田桂子さん～



○入会年 令和4年9月

○出身地 福島市飯坂町

飯坂温泉に毎日入浴してました。20歳4月から京都に進学で上洛。そのまま居心地良く今に至る。

○県人会の入会理由

だいぶ前に地元飯坂町の福島北高校が選抜大会出場で甲子園に応援に行きました。

当時京都県人会の方が応援席の入場口におられて県人会を知りました。ずっとそのまま入会しそびれてしまって、今年聖光学院対仙台育英の応援に行こうと事務所にお電話をしてご案内送っていただきました。

○福島県への思い、自己PR

ホームシックもほとんど無く過ごして来たのですが、東日本大震災(原発事故)後、美味しい果物や美しい自然が原発事故の被害でリセットされてしまって福島への思いを見直すこととなりました。年齢的な事もあるのですが、安達太良山、吾妻小富士、裏磐梯、スカイラインの紅葉の美しさや、温泉郷、春の果樹園りんごや桃の花が咲き誇る桃源郷、通学時の当たり前の風景がとても素晴らしい事だったのだと見直しました。

年間1回帰省できたらいい方ですが、一切経山に登り魔女の瞳見たい、安達太良山に登りたい、只見線に乗りたい、旧日中線記念自転車歩行者道の枝垂れ桜見たい、裏磐梯曲沢沼に行きたい、どれかひとつでも叶えたいです。

最近のおすすめは齋正機(画家)サイマサキさん。

高校の恩師が後援会長をしまして、電車汽車の絵(特に只見線や飯坂線)や福島県の風景画が素晴らしいです。毎年、東邦銀行のカレンダーは齋さんの絵です。後援会は入会無料ですので是非ホームページをご覧ください。

同好会情報

一緒に楽しみましょう！

けやき会(ゴルフ同好会)

自然豊かな郊外、澄み切った青空の下で頭や体を使いクラブを振り、楽しい食事や会話で心身ともにリフレッシュしませんか。

連絡先 斎藤

電話 090-4034-1662

しゃくなげ会(麻雀同好会)

近年では頭の体操で認知症予防にも役立っていると好評です。脳内神経研ぎ澄まし、ポン・チー・カン・ローンとゲームを楽しみませんか。

連絡先 鎌田

電話 072-871-3246

きびたん会(カラオケ同好会)

健康長寿の源の一つに「歌ありき」、福島先輩古関裕而メロデー「高原列車は行く」、「栄冠は君に輝く」、「六甲おろし」等々大きな声で元氣よく合唱しませんか。

連絡先 鎌田

電話 072-871-3246

関西うつくしま旅倶楽部(旅の同好会)

ゆったりとした行程で近隣の一泊二日の旅や、二泊三日で福島訪問の旅を企画致します。会員の皆様のご希望や旅情報など、是非ともご一報お待ちいたしております。

連絡先 大塚(福島交通)

電話 06-6459-3003

散楽遊 友の会(健康ウオーク同好会)

近隣の名所旧跡や郊外、市街地、歓楽街など又、皆様のお住まいの地域など会員皆様の情報を共有して「散策を楽しむ遊ぶ」。例えば大阪中之島公園、大阪城公園ウオーク等々。ご希望地など一緒に歩きませんか。

連絡先 鎌田

電話 072-871-3246

「関西福島県人会だより」について

「関西福島県人会だより」は、新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの自粛等、活動の制限を余儀なくされている中で、会員の皆様の間での情報共有を図る目的で、令和2年9月から新たに発行しているものです。

年3回(1月、3月、10月)を目安に発行し、皆さまへ情報をお届けします。

関西福島県人会イベント情報について

	イベント名	場所	開催情報
1	第64回通常総会	大阪市	2月19日
2	東大阪市民ふれあい祭り	東大阪市	5月予定
3	郷土訪問旅行	福島県	5月予定
4	鴨川納涼2023	京都市	8月予定
5	全国高等学校野球選手権大会 大会激励会・応援	西宮市	8月予定
6	福島区民まつり	大阪市	10月予定
7	家族会	箕面市	10月予定
8	芋煮会	高石市	11月予定
9	全国高等学校駅伝競走大会 大会 激励会・応援	京都市	12月予定
10	全国高等学校ラグビーフットボール大会 大会 激励会・応援	東大阪市	12月予定

※ 新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止等、活動への影響が心配されます。

入会案内

関西福島県人会 会員 募集中！

○入会資格

福島県出身の方・縁故のある方
福島県に“想い”のある方

○年会費

3,000円

○主な活動内容

- ・大阪や京都を中心に実施する各種イベントでの県産品販売等による福島の魅力発信
- ・各種スポーツ全国大会における県選手団の激励
- ・会員とその家族の親睦を図る家族会
- ・役員と新入会員の懇談会、年に1回の芋煮会
- ・県人会だよりの発行（年に3回）

○ご連絡先

関西福島県人会事務局（福島県大阪事務所内）

TEL：06-6343-1721

FAX：06-6343-1727

E-mail：kansai_kenjinkai@pref.fukushima.lg.jp

※ 現在、ホームページの申込フォームに不具合が生じており、お申し込み内容を確認することができません。

お手数ではございますが、事務局まで電話、FAX、メールのいずれかの方法でご連絡願います。

申込用紙を送付させていただきます。

なお、事務所内にも申込用紙をご用意しておりますので、お気軽にお声かけください。

サテライトショップからのお知らせ

◎イベントレポート！

昨年10月～12月は数多くのイベントへ出店をいたしました。その中から、一部をご紹介します。

★MBSラジオ「秋まつり2022」

日時：11月3日(木)文化の日

場所：長居公園自由広場

晴天に恵まれ、多くの来場者がありました。福島自慢の日本酒をその場で楽しめるコップ販売が好評でした！



★ふくしまマルシェ in OBP パナソニックタワー
パナソニック社の社内マルシェとして県産品販売会を開催し、福島県の魅力を発信いたしました。

日時：12月22日(木)

場所：OBP パナソニックタワー内



◎今後のお知らせ！

下記の日程で外販イベントを実施予定です。お近くにお越しの際はどうぞお立ち寄りください。

★天神橋筋商店街での福島県観光物産展

日時：2月21日(火)

場所：天神橋二丁目商店街

★ふくしまてんこもり2023春

日時：3月19日(日)

場所：福島公園（JR 福島駅より徒歩約3分）

※上記は変更となる場合がございます。

◎サテライトショップ（福島県大阪事務所内）で「大阪市プレミアム付商品券2022」がご利用可能です。

利用期間：令和5年2月28日(火)まで

ご利用方法：スマホアプリのみ

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

※外販イベントではご使用になれません。